

2024年1月31日

各位

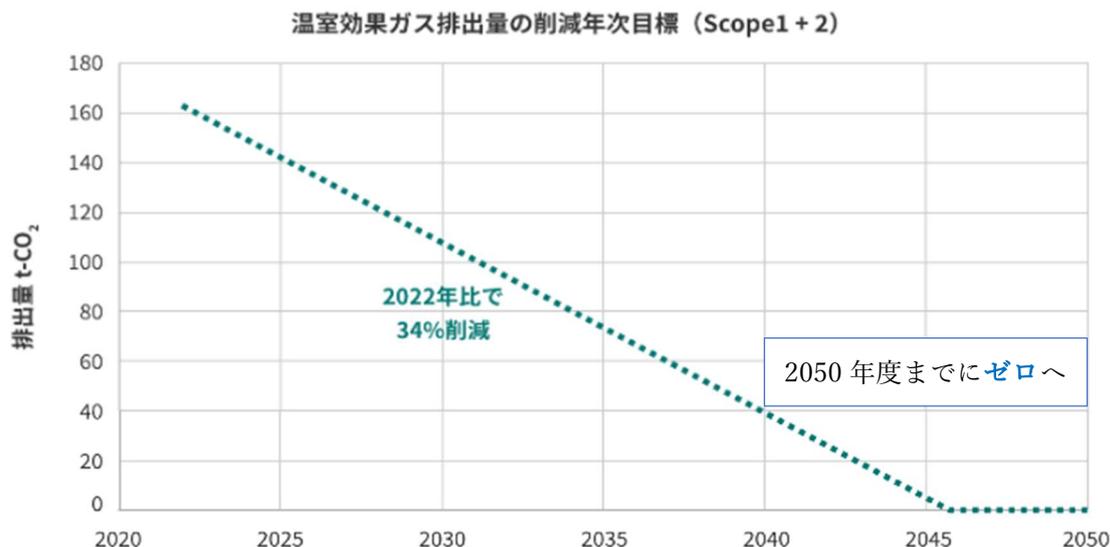
株式会社東邦システムサイエンス

## CO<sub>2</sub>排出量ゼロの実現に向けて ～使用電力の實質再生可能エネルギー化～

東邦システムサイエンス(本社:東京都文京区、代表取締役社長:小坂友康、以下「当社」)は、「お客様と共に未来を創る」をスローガンに、事業活動を通じた社会的な価値提供によって「社会課題の解決」を目指し、社会と社社の持続可能性向上を目的とした「サステナビリティ経営」を推進しています。

近年の気候変動問題は、気温上昇や自然災害の激甚化といった大きな物理的リスクを抱えていることから、気候変動問題への対応は地球規模の課題と言えます。当社では気候変動への取り組みは重要な経営課題の一つと捉え、2023年6月にSBT(※1)の認定基準における1.5°C目標を設定し、温室効果ガス排出量の削減年次目標(scope1+2(※2))を、2022年度から2030年度までに34%削減、2050年までに温室効果ガス排出量ゼロを目指すことを宣言しています。

今般、低炭素社会の実現への取り組みとして、2023年12月にトラッキング付FIT非化石証書(※3)を購入し、實質再生可能エネルギーへの一部切り替えを行いました。これにより、2022年度のCO<sub>2</sub>排出量に対して、113t-CO<sub>2</sub>の削減(前年比34%以上)となり、削減目標を前倒して達成できる見込みです。



(当社サステナビリティサイト: <https://www.tss.co.jp/tabid/599/Default.aspx>)

今後もさらなる省電力化や自然エネルギーの活用を推進し、温室効果ガス排出量削減に向けて意欲的に取り組むとともに、環境に配慮した事業活動の実践や、環境に貢献する事業機会の創出を通じて、脱炭素社会の実現、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

<用語説明>

※1 SBT

世界の平均気温の上昇を抑えるために、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ

※2 Scope1：自社による温室効果ガスの直接排出量

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気などの使用に伴う間接排出量

※3 FIT 非化石証書

固定価格買い取り制度（FIT）対象の再生可能エネルギーに含まれる「環境価値」の部分を証書として売買を可能にしたもの。非化石証書に記載された電力量は再エネ使用量とすることが国際的評価機関に認められており、その分はCO<sub>2</sub>排出量ゼロとして集計される。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社東邦システムサイエンス 企画部 経営企画課

電話番号：03-3868-6061

メール：info@tss.co.jp

以 上